

千葉大学病院にて眼科を受診された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年4月8日

眼科

眼科では、「光干渉断層計や光干渉血管撮影、眼底視野計を用いた近視の眼球形態と機能の解析」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2010年4月以降、2023年12月までに千葉大医学部附属病院眼科を受診し、OCT、OCTA、眼底視野計を撮影した近視患者

1. 研究課題名

「光干渉断層計や光干渉血管撮影、眼底視野計を用いた近視の眼球形態と機能の解析」

2. 研究期間

2024年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

光干渉断層計(optical coherence tomography : OCT)、光干渉血管撮影(optical coherence tomography angiography: OCTA)、眼底視野計(fundus microperimetry)は眼科の日常診療において有用性や安全性が確率した検査法であり眼疾患の診療で広く用いられています。近視の方に対し OCT、OCTA、眼底視野計を撮影し視機能に関わる網膜や脈絡膜

など眼球の形態について構造解析を行う事により、病態解明や、診断手法の開発に役立てられる可能性があります。使用する情報は解析が行われますが、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置換するなどの加工及び、個人情報の保護に関する法律に準じた安全管理を行います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

外来時に撮影した OCT, OCTA, 眼底視野計などの画像データ

診療録に記載されている視力や屈折値、眼圧、眼軸長、脈絡膜厚、網膜感度など

診療録に記載されている性別、年齢、既往歴、併存疾患、視力や屈折値、眼圧、眼軸長、脈絡膜厚、網膜感度、ハンフリー自動視野計 (HFA) 測定値など

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥精司

研究責任者 眼科 教授 馬場隆之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学系研究棟 5 階眼科学医局で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院眼科

医師 馬場隆之

043（222）7171 内5325

